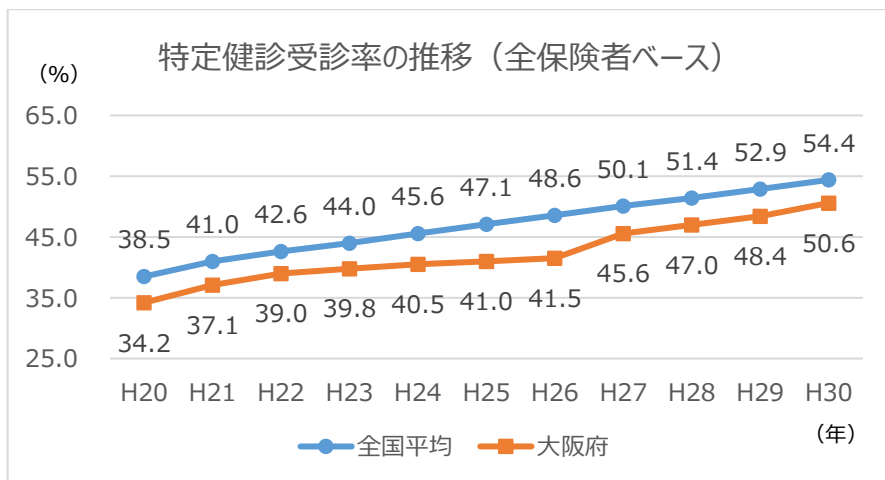


大阪府の健康関連データ

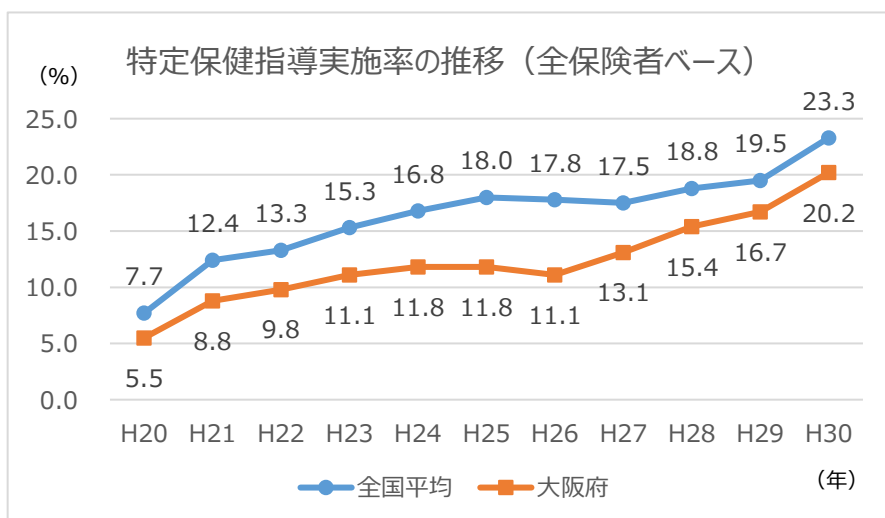
(1) 特定健診受診率の推移



○大阪府の特定健診受診率（全保険者 平成 30 年度）は、50.6%と、毎年高くなっている。

○全国平均との比較では、平成 29 年度 4.5 ポイントの差があったが、平成 30 年度 3.8 ポイント差と、0.7 ポイント縮小された。

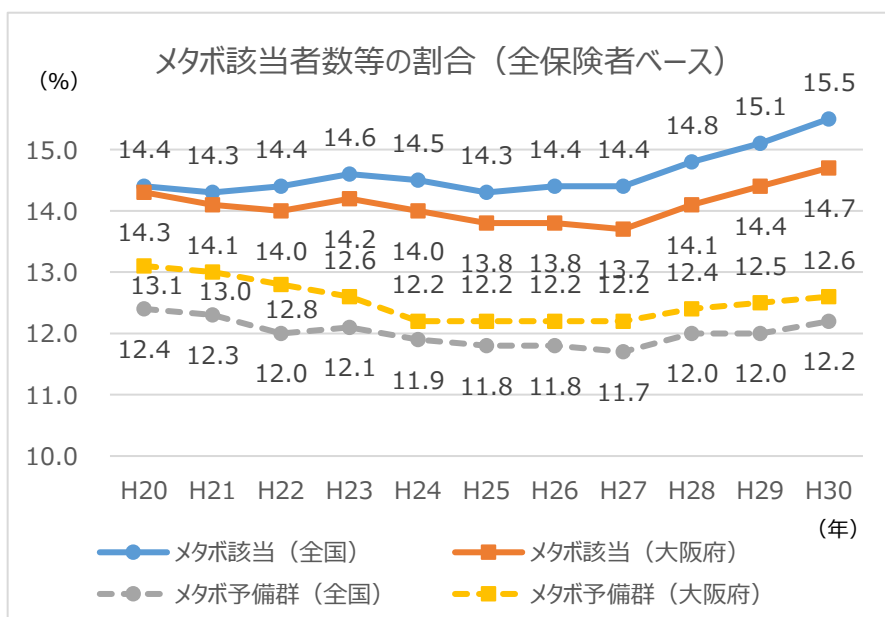
(2) 特定保健指導実施率の推移



○大阪府の特定保健指導実施率（全保険者 平成 30 年度）は、20.2%で毎年上昇し、平成 29 年度から 3.5 ポイント上昇した。

○全国平均との比較では、平成 29 年度 2.8 ポイントの差が、平成 30 年度 3.1 ポイントと、0.3 ポイント差が拡大された。

(3) メタボリックシンドローム該当者等の割合の推移

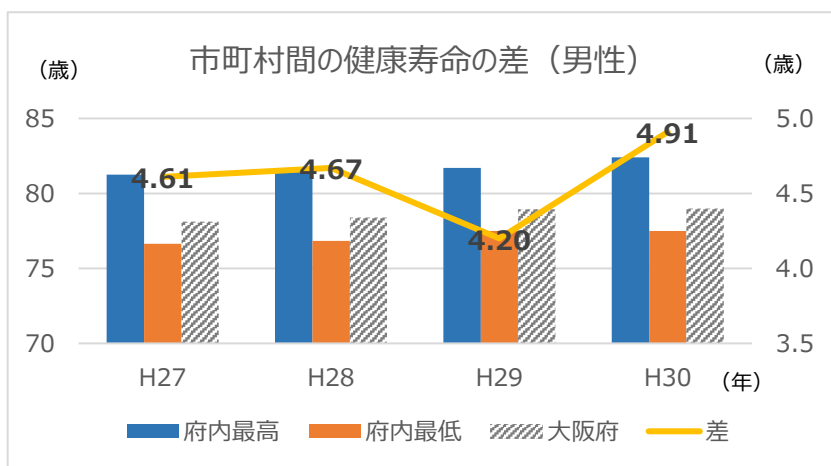


○大阪府の特定健診受診者のうち、メタボリックシンドローム該当者の割合（全保険者 平成 30 年度）は 14.7%と、平成 27 年度以降増加傾向にある。

全国平均と比較するといずれの年も数値は下回っている。

○一方、メタボリックシンドローム予備群該当者の割合（全保険者 平成 30 年度）は、12.6%と微増し、全国平均を上回っている。

(4) 健康寿命（日常生活動作が自立している期間）（男性）の推移

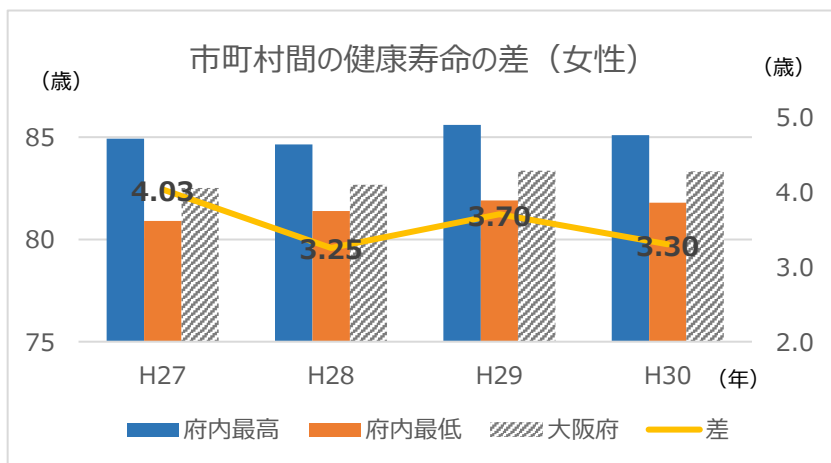


男性	H27	H28	H29	H30
府内最高	81.26	81.49	81.70	82.40
府内最低	76.65	76.83	77.50	77.49
大阪府	78.11	78.39	78.95	79.00
市町村間の差	4.61	4.67	4.20	4.91

○平成 30 年の大阪府男性の健康寿命は 79.0 歳で、年々延伸している。

○市町村間の健康寿命の差は、平成 27 年以降、縮小傾向だったが、平成 30 年は 4.91 歳と、平成 27 年比 0.3 歳拡大した。その要因は、府内最低値の変動は少なかった一方で、府内最高値は前年から 0.7 歳と大きく延伸したためである。

(5) 健康寿命（日常生活動作が自立している期間）（女性）の推移



女性	H27	H28	H29	H30
府内最高	84.93	84.65	85.60	85.10
府内最低	80.90	81.39	81.90	81.80
大阪府	82.52	82.67	83.36	83.33
市町村間の差	4.03	3.25	3.70	3.30

○平成 30 年の大阪府女性の健康寿命は 83.33 歳で、前年からはわずかに短縮したものの、平成 27 年比では延伸している。

○市町村間の健康寿命の差は、平成 27 年以降縮小傾向にあり、平成 30 年は 3.30 歳と、平成 27 年と比較して 0.73 歳縮小した。

都道府県別メタボリックシンドローム該当者割合等の年次推移

Table with 37 columns (years 2004-2020) and 47 rows (prefectures 1-47). Columns include: 都道府県 (Prefecture), メタボリックシンドローム該当者数 (Number of Metabolic Syndrome cases), 人口 (Population), and 割合 (Percentage). Rows list prefectures like 1 鳥取県, 2 山梨県, etc., up to 47 宮城県 and a final 全国 (All Japan) row.

出典：特定健康診査・特定保健指導に関するデータ「厚生労働省」

